

## 原発事故で汚染の草木処分

東京電力福島第1原子力発電所事故の放射性物質に汚染された草木の処分に、バイオマス（生物資源）がう。同省は森林や牧草地の

### バイオマス発電が有効

ス化発電が有効なことが、2日までに環境省の実証実験で確認された。放射性物質を飛散させずに汚染物の

体積をほぼ100分の1にでき、売電すれば約14年半で投資を回収できるとい

環境省は、除染に役立つとみている。バイオマスガス化発電では、樹木の枝葉や牧草など

を熱分解処理してガス化

### 環境省 体積100分の1

し、ガスエンジンなどを使って発電する。

環境省の助成を受けた鴻池組や鉄建が実験した結果、草木を燃やしたときの熱量の61〜70%を発電に利用できることを確認。後に残る炭は元の体積から98〜99%減少。放射性セシウムは炭にとどまり、最終的には埋め立て処分ができる。